

焦点

委員会 審査報告から

総務生活委員会

紙の再生使用に挑戦

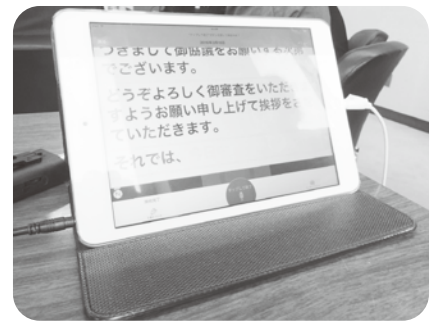
総務生活委員会に付託された議案は、条例案件15件、事件案件1件、予算案件6件で審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

市議会3月定例会は、予算議会とも言われ、当委員会においては一般会計のうち所管する範囲、国保事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計の予算案等について、二日間にわたり審査しました。

この中で、一旦使用した紙を再生して使うという新規事業の「紙のタイムマシン活用事業」については、再生機使用料などの経費と、従来どおり紙を購入した費用とを比較



古紙再生機
(セイコーエプソン株式会社のペーパーラボ)



UDトーク

しての、いわゆる「費用対効果」について議論されました。紙は数回再生が可能であり、紙資源の節約につながることから、今後、実際に使用する中で検証していくとの説明がありました。

また、請願1件については、採決の結果不採択となりました。

今回の委員会では、音声認識機能を使い、発言が即時に文字化して聴覚障がいのある皆さんに情報伝達できる「UDトーク」(コミュニケーションの「UD」ユニバーサルデザイン)のシステム実験が行われました。

かなりの速度と精度で文字化されることは、今後の改良により、多方面への活用が期待されます。

福祉教育委員会

地域密着型施設に 設置基準

福祉教育委員会に付託された議案は、条例案件8件、予算案件7件で、慎重審査の結果、いずれも全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

条例案件は、宗賀の障害者共同作業所廃止に伴うもの、地域密着型サービス事業(小規模の通所介護施設)の人員、設備及び運営の基準を変更するもの、介護予防認知症対応型通所介護について運営推進会議の設置を義務付けるもの、放課後児童支援委員の資格要件、市への寄附金を受ける特定非営利活動法人を定めるもの、家庭的保育事業の建築基



作業所の作業の様子



九里巾交差点付近を視察

準及び職員配置に関するものです。地域密着型介護施設については制度変更の説明を受けました。

予算案件では、平成28年度一般会計予算のうち民生費、教育費等に関わるものについて審査しました。

長寿祝い金減額の理由についての質問に、敬老会の参加者が減少している等の現状があり、今後総合的な見直しが必要と考えているとの答弁がありました。

ロマン大学大学院受講生募集停止の理由についての質問に、退学者の増加などが理由との答弁がありました。

審査終了後、本議会中に発生した市職員の関係する人身事故の現場、九里巾交差点付近を視察しました。